

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H30	H31	H32		
群馬県	片品村	むらづくり観光課	●	●	□	A	明確な事業軸をもち、具体的な取組、高い質でのアウトプットと行った本事業は一貫して高く評価できる。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である鈴木 美央から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

鈴木 美央

【意見聴取の概要】

地域の魅力向上に取り組むことを目的として、地域資源活用の調査から商品開発、組織づくりや人材育成、販売促進や付加価値を加えるブランディングと3つの事業に取り組み、どの点においても目標達成のための具体的な取組が行われている。地域の魅力向上に複数主体で取り組んでおり、それぞれにおける活動、または引き続いての連携など、今後の更なる活動のきっかけとしても本事業は評価に値する。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	片品村	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	片品村	平成29年度	平成31年度	平成30年4月26日～平成31年3月20日
3. 事業費(うち国費)	9,661,000円(9,661,000円)			
4. 第三者氏名	鈴木 美央			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 本事業では、平成30年度にオープンした道の駅 尾瀬かたしなにおいて、村役場、道の駅の運営者である振興公社、生産者が一体となって、地域の魅力向上に取り組むことを目的としているが、地域資源活用の調査から商品開発、組織づくりや人材育成、販売促進や付加価値を加えるブランディングと3つの事業に取り組む、それぞれに明確な成果を挙げていることを高く評価する。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 前述の通り、3つの大きな軸に沿って行われた事業であるが、どの軸においても目標達成のための具体的な取組が行われている。例えば、調査から商品開発までを単年度で行っており、スピード感のある取り組みが行われている。小麦の作付けでは、現状、農家が抱える課題を解決する施策としての行っており、加工品としてのうどんの試作も行っている。一貫した展開は説得力があり、今後の展望が期待できる。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 道の駅での地域の魅力向上を複数主体にて取り組むことを目標とした事業であったが、調査や提案にとどまらず、商品開発やブランディング用チラシなど実際に手に取れる形にまでアウトプットを行っている。加えて、それぞれの成果の質が高いことも評価に値する。例えば、村の特産品を活かした食品加工品と工芸民芸品を更に販売促進させるための紙媒体では、高いデザイン性と地域の独自性を打ち出すことに成功している。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 事業実施主体である、片品村むらづくり観光課であるが、道の駅の運営者である振興公社、道の駅の利用者である飲食店事業者、加工組合、生産者と連携した事業を行っており、村内における、生産、加工、販売と全てのプロセスの関係組織を事業に組み込んだ点を高く評価する。また、取り組み内容は非常に充実しており、積極的な実施内容と具体的な成果からも実施主体の事業策定がうまく機能していることが理解できる。		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)			
④ その他				
※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。				